

第3章 国際社会に生きる日本人の自覚

2 仏教と日本人の思想形成

3 仏教と日本文化（教科書 P. 89～91）

●日本人の無常観 [p. 89]

「いろは歌」—— [] をうたった歌

無常とは——仏教でいう、絶えず []・[] し、永遠にとどまらない世界

無常のあり方—つぎつぎと成りゆく「おのずから」のあり方として受けとめられる

→変化するものへの感受性・常なるものへのあこがれ

『徒然草』——世の中は無常であるからこそ「あはれ」も「いみじ」もある

↓

●日本人の美意識 [p. 90]

= 「[]」（中世までにでき上がった文学・芸術・芸能に求められる美的理念）

↓

『方丈記』『徒然草』など

→変わりゆくものを積極的に受けとめるところに美を見出す

[]らの能

→「秘すれば花」=切りつめられた表現，秘められた美

千利休らのわび茶

「[]」=簡素・質素なものの中に求められた美

「一期一会」=限定された時間に無限の美を見出す

和歌・連歌・俳諧の世界で尊ばれた「[]」